

第34回

品質工学研究発表大会

大会会場／統計数理研究所 大会議室, 会議室1, セミナー室1, 2, 5 (大会受付 2Fロビー)

主催／一般社団法人 品質工学会

協賛／大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所

(公社)計測自動制御学会 (公社)精密工学会 (一財)先端加工機械技術振興協会 (一社)中部品質管理協会

(一社)電気学会 (株)日刊工業新聞社 (一社)日本画像学会 (一社)日本機械学会 (一財)日本規格協会

(一社)日本合成樹脂技術協会 (公社)日本設計工学会 (一社)プラスチック成形加工学会 (一社)日本能率協会

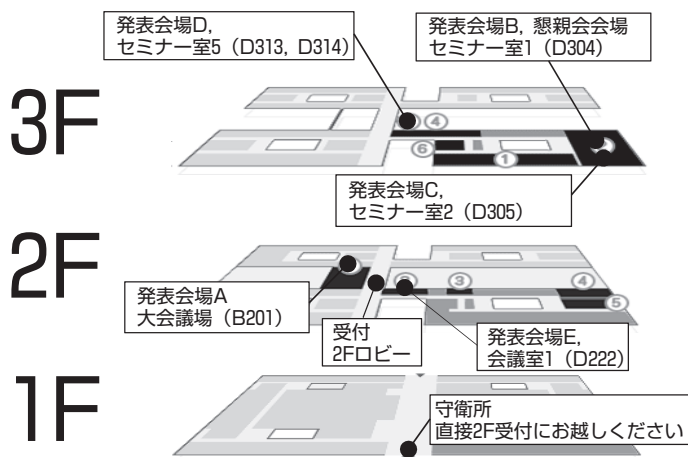
(一財)日本科学技術連盟 日本クオリティ協議会 (NPO)日本TRIZ協会

会場略図

大会受付／統計数理研究所 2F ロビー (東京都立川市緑町10-3) ※今大会より受付場所が変更になっております。

懇親会／統計数理研究所 3F セミナー室1

交通のご案内／JR中央線 立川駅下車 多摩モノレールに乗り換え 高松駅下車 徒歩10分



研究発表大会へのお誘い

大会実行委員長 浜田 和孝

第34回品質工学研究発表大会 (RQES2026S) を開催いたします。本大会は、昨年に引き続き統計数理研究所を会場とし、現地参加を基本に、オンラインを併用したハイブリッド形式で実施いたします。

今回も特定の統一テーマを設けず、品質工学に関わる66件の発表申込みをいただきました。対象分野は、開発・設計、製造・加工、計測・診断をはじめ、ソフトウェア、AI・データ活用、教育・人材育成、オンライン品質工学など多岐にわたり、品質工学が実務、研究、教育の各分野において幅広く活用されている現状を反映した内容となっています。

本大会では専門性の高いテーマも扱いますが、実務や研究の現場で得られた知見や気づきを共有することを重視し、多様な分野・立場からの発表が集まっています。品質工学の広がりや可能性を実感いただける構成となっています。それぞれの発表では、成果そのものに加えて、検討の背景や工夫した点、現場で直面した課題なども含めて紹介される予定であり、日々の業務や研究に直結する実践的な示唆が得られる場となっています。

本大会の大きな特長の一つが、発表後の議論を重視した運営です。

この取り組みは昨年の大会から導入したもので、各セッションにおいて複数件の発表終了後、発表ごとに分かれてパネル前に集まり、発表者と参加者が直接議論を行う形式を採用しています。発表内容の背景や意図、評価の工夫、今後の課題について意見を交わすことで、理解を深めるとともに、参加意識の向上を図ることを狙いとしています。

なお、この発表後の議論は現地参加者のみを対象としています。対面でのやり取りだからこそ生まれる率直な質疑や、分野を越えた視点の交換は、本大会ならではの価値であり、現地参加の大きな魅力の一つです。可能な方にはぜひ現地に足を運び、発表を「聞く」だけでなく、「問い、考え、議論する」体験をしていただければ幸いです。

品質工学をこれから学びたい方、日々の業務の中で手探りで適用されている方、あるいは理論や方法論の深化に取り組みたい方にとって、本大会は必ず何かを持ち帰っていたいただける場になるはずです。現地・オンラインを問わず、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

本大会が、皆様の次の一歩を後押しする機会となれば幸いです。

第34回

品質工学研究発表大会

7月1日(水)

特別企画：発表会場A（統計数理研究所 2F）

9:50～	受付開始 オンライン会場：10:05よりログイン開始
10:20～11:20	特別企画① 「矢野宏賞創設の案内および第一回受賞記念講演」 (一社) 品質工学会 審査表彰部会
11:20～12:00	特別企画② 「生成AI (NotebookLM) による品質工学情報提供ツールの紹介」 (一社) 品質工学会 事業部会 教育・普及委員会普及グループ

7月1日(水)

発表 (OS・自由討論)：発表会場A, E（統計数理研究所 2F），発表会場B～D（統計数理研究所 3F）

発表会場A	パラメータ設計1 13:00～14:40	1	プレス加工シミュレーションによる再現性改善と経済性	萩原 信行	個人
		2	高温熱式質量流量センサのロバスト設計	杉本 啓伍	(株)堀場エステック
		3	競技パフォーマンス向上のためのVRを活用したトレーニングシステムのパラメータ設計の研究	内藤 友紀	埼玉工業大学大学院
		4	滑らかなファスナー設計を狙うシミュレーションと品質工学の融合	笹島 寛生	YKK(株)
	パラメータ設計2 15:00～16:40	5	ロバストなレーザー焼入れプロセス設計：動特性SN比による多特性の安定化	大杉 耕一	(株)オーエヌテクノラボ
		6	ダイボンディング工程における接合状態のパラメータ設計	小西 創太	ローム(株)
		7	顧客満足度・営業活動に貢献できる木製窓塗装工程の高品質安定塗布に向けた迅速品質向上活動	菅野勇太郎	YKK AP(株)
		8	樹脂射出製品ランナー分離跡の制御技術開発	埴生 雅裕	YKK(株)
発表会場B	MTシステム1 13:00～14:40	9	デジタルシボ組立型工法による南部鉄器鉄瓶製作へのMT法活用	和合 健	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
		10	RT法を用いたRamanスペクトルからの特徴量抽出と生体用リン酸塩ガラスの物性値予測	山下 誠司	東海国立大学機構 名古屋大学
		11	MT法を用いたカブトムシ三齢幼虫の糞形状因子からの雌雄判別	山下 誠司	東海国立大学機構 名古屋大学
発表会場C	フロントローディング実践に向けた戦略と戦術 13:00～14:40	12	田口の思考 (TQP) に学ぶ開発戦略 —フロントローディングの本来の意図と現代的意義	吉原 均	NMS研究会
		13	フロントローディングを仕組みで回す ：技術開発と人財開発によるプロセス損失低減 (いすゞ自動車事例)	高倉裕太郎	プロセス損失低減研究会/ いすゞ自動車(株)
		14	企業向け品質工学テキストの検討 —フロントローディング実現に資するために—	鐵見 太郎	企業向けテキスト検討WG
		15	フロントローディング実装に向けた戦略と戦術	細井 光夫	NMS研究会
	中部発!品質工学・人財育成・データ解析によるIoT業務改革 15:00～16:40	16	旋盤加工における表面粗さリアルタイム全数検査システムの実装	山口 展由	武蔵精密工業(株)
		17	十分でないサンプリングで特徴量を抽出するデータ処理の試み	城越 教夫	(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ
発表会場D	一因子実験法と回帰分析の応用 13:00～14:40	18	パラメータ設計演習用教材開発に関する活動報告	舟山 博人	(有)アイテックインターナショナル
		19	1因子法のすすめ3	貞松 伊鶴	静岡品質工学研究会
		20	簡単、わかりやすい、少ない実験の提案	田中 誠	静岡品質工学研究会
		21	VIF保証計画行列を用いたロバスト設計：ノイズ因子を含む内側配置の検討	中川 謙一	パラミ研
	カンファレンス行列の応用事例 15:00～16:40	22	VIF保証計画行列の探索方法の改良と課題	中川 謙一	パラミ研
		23	カンファレンス行列を使ったスポーツ科学-ランニング特性の改善	榊 卓也	品質工学フォーラム埼玉
		24	L ₁₈ を用いたランニング特性改善データにおける解析手法の比較と欠測値の救済	榊 卓也	品質工学フォーラム埼玉
発表会場E	バーチャルパラメータ設計 13:00～14:40	25	カンファレンス行列による難削材の切削加工	藤本 亮輔	芝浦機械(株)
		26	オンライン研修を対象とした生成AIによるバーチャルパラメータ設計(第1報)	小黒 諒	東京都立産業技術大学院大学
		27	オンライン研修を対象とした生成AIによるバーチャルパラメータ設計(第2報)	小黒 諒	東京都立産業技術大学院大学
		28	仮想空間内での実験に基づくバーチャルパラメータ設計手法の研究	森 基	埼玉工業大学大学院
	その他1 15:00～16:40	29	機械加工作業の習得における自己認識分析に基づく実技課題の難易度適正化	奥 猛文	職業能力開発総合大学校
		30	損失関数の納得性を高めるモデル化の研究 第2報	佐々木市郎	元アルプスアルパイン(株)
		31	工程をまたいだ最適化による製造管理コストの低減 —「自工程完結」ならぬ「次工程完結」の取り組み—	佐々木市郎	元アルプスアルパイン(株)
32	生成AIとの対話による品質工学の活用促進に向けた私的考察	佐々木市郎	元アルプスアルパイン(株)		
33	WEB消費者行動データに基づく商品ページ設計方法の確立—精密累積法の適用—	志田稔太郎	(同)快活時間		

☆発表：1テーマ20分（発表15分、質疑5分） ※発表時間は各セッション内で前後する可能性があります。

☆ポスター展示：各発表会場内に展示

☆発表後、ポスター展示前にて討論が可能です。（ポスター前討論20分）尚、リモートでの参加者はポスター前討論には参加できません。

☆特別講演および特別企画は、発表会場Aセッションで配信します。

☆懇親会：7月1日（大会1日目）17:00～18:30、統計数理研究所 3F セミナー室1

☆議論の元となる発表概要については、4月末に学会HPにて公開します。大会開催の最新情報を学会HP（<https://www.rqes.or.jp/>）で確認ください。

7月2日(木)

発表(OS・自由討論)：発表会場A, E(統計数理研究所 2F), 発表会場B～D(統計数理研究所 3F)

9:15～		受付開始 オンライン会場：10:05よりログイン開始			
発表会場A	パラメータ設計3 10:20～12:00	34	UWB測位に基づく配膳ロボットの経路追従システム実装と精度評価	李 国睿	埼玉工業大学大学院
		35	誤差因子調合による評価技術開発と再現性向上の実践	畠山 鎮	YKK(株)
		36	パワー半導体における熱ストレス低減のための信頼性評価	高本 健生	ローム(株)
		37	誤差因子の活用と簡易検証装置による迅速な課題解決の提示	松田 祐樹	YKK AP(株)
	パラメータ設計4 13:00～14:40	38	SN比を用いた応答局面法による研削加工条件の最適化	鈴木 宏保	ローム(株)
		39	部品加工における工程能力評価技術開発を利用した工程設計基準を定める一連の手法の検討	大月弥之助	YKK(株)
		40	溶射工法における生産技術での取り組み 第1報 -コールドスプレーバルブシートの基盤技術開発-	西野 眞司	日産自動車(株)
	41	溶射工法における生産技術での取り組み 第2報 -コールドスプレーバルブシートの量産適用技術開発-	西野 眞司	日産自動車(株)	
発表会場B	MTシステム2 10:20～12:00	42	動的単位空間を適用したMT法による、発電プラントの熱効率向上手法の検証と報告	茂木 悠佑	(株)IHI
		43	品質工学手法を用いた工具摩耗管理技術の構築	林 祥乃介	マツダ(株)
		44	発表取り下げ		
		45	MT法による人工衛星のオンボード健全性監視の検討	勝部 駿	東京理科大学
	MTシステム3 13:00～14:40	46	センサー搭載型エジェクタピンを利用した射出成形状態監視とMT法による異常検知の検討	阿部 優太	埼玉工業大学大学院
		47	MTシステムによる項目診断を目的とした鉄道車両用の多点計測システムの構築に関する研究	矢ヶ崎秀登	埼玉工業大学大学院
		48	MT法による搬送ラインへの状態監視技術の構築と搬送速度の評価に関する研究	住友 健悟	埼玉工業大学大学院
		49	Ta法とJIS Z 9090に基づく抵抗率保証再設計によるエピタキシャル工程の品質損失低減	藤本 武文	ローム・デバイス マニュファクチャリング(株)
発表会場C	機能性評価 10:20～12:00	50	やわらかい機械実現に向けたデバイスの機能性評価に関する研究	湯本 賢	埼玉工業大学大学院
		51	低真空FDMにおける放射冷却による造形物温度制御の基本機能の検討	辻 侑太	九州工業大学大学院
		52	品質工学によるひとつくり(3)	水田 匡彦	大分市立野津原小学校
		53	データベースの作り方の違いによるMT法手法の比較パート2	牧野 和昭	中部品質工学研究会
	MTシステム4 13:00～14:40	54	プレス加工シミュレーションのエネルギー出力を用いたT法による要因分析と塑性不安定現象のメカニズム検討	萩原 信行	個人
		55	2種類の不確実性に基づく深層学習開発の効率化に関する一検討	小島 和浩	コニカミノルタ(株)
		56	深層学習モデルを用いた画像特徴の抽出とMTシステムによる分析(2)	植 英規	福島工業高等専門学校
		57	MT法による学生の測定能力予測(第2報)	岩永 禎之	四国職業能力開発大学校
発表会場D	予測問題と設計問題 10:20～12:00	58	既存計画行列のVIF保証性評価:CCD, Draper-Lin計画, L ₁₈ の拡張適用可能性	中川 謙一	パラミ研
		59	タグチシステムビヘイビアテスト技術を用いたコネクテッド電気自動車のソフトウェア信頼性の向上	S Manickaraj	TVS Motor Company Ltd.
発表会場E	その他2 10:20～12:00	60	CAT deterioration monitoring using SBT	V Balaji	TVS Motor Company Ltd.
		61	タグチ手法を用いた統合ISG-EMS ECUのロバスト最適化	S Rithika	TVS Motor Company Ltd.
		62	得意技術を起点としたQFDによる新規市場開発プロセスの提案	渡辺 誠	(株)リコー
		63	T7を用いたトータルシステム開発における組織的技術開発プロセスの提案	松田 裕道	(株)リコー
	その他3 13:00～14:40	64	過去の技術開発事例から見える成功要因と課題	細川 哲夫	(株)リコー
		65	少数試行で主効果支配性を判定する手法の検討	津村 秀一	海上技術安全研究所
66		ゼロディフェクト実現に向けた検査レス運用体系の構築	城岸 利行	YKK(株)	

7月2日(木)

来賓挨拶, 受賞記念講演, 表彰式：発表会場A(統計数理研究所 2F)

15:00～15:30	来賓挨拶 経済産業省 大臣官房審議官 今村 亘 一般財団法人 日本規格協会 理事長 朝日 弘 精密測定技術振興財団 常務理事 事務局長 高増 潔
15:30～16:10	受賞記念講演 品質工学学会 ASI賞・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞銀賞, 金賞
16:20～17:20	表彰式 品質工学学会貢献賞・学生賞・品質工学学会日本規格協会理事長賞・品質工学学会ASI賞・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞・品質工学研究発表大会実行委員長賞・品質工学研究発表大会品質工学学会会長賞・精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞

申込要領

申込方法

品質工学会ホームページより

【第34回品質工学研究発表大会 参加申込フォーム】からお申込みください。

URL : <https://www.rqes.or.jp/>



参加費

- 正会員：10,000円 ●学生会員：3,000円 ●非会員：20,000円
- 学生非会員：6,500円 ●懇親会：6,000円（税込）

支払方法

〈銀行振込〉または〈クレジットカード払い〉にてお支払ください。
(参加申込時に支払い方法をお選びください。)

申込締切

2026年6月19日(金)

オンライン会場略図

オンライン講座・イベント

ログインページ

<https://app.rqes.or.jp/online/start/>



- 発表会場A：講座番号 401
- 発表会場B：講座番号 402
- 発表会場C：講座番号 403
- 発表会場D：講座番号 404
- 発表会場E：講座番号 405

品質工学会 会員募集中!

新規入会し、会員として大会参加

品質工学会では、品質工学に興味をお持ちの方、品質工学の色々な情報を知りたいという方々のために会員を募集しております。いま加入していただけますと、今年度の学会誌を入手できるとともに、研究発表大会に会員価格で参加できます。

会費

正会員／年額10,000円＋入会金2,000円
学生会員／年額3,000円＋入会金1,000円

《入会方法》

品質工学会ホームページの事務局ページ《入会申込》よりお手続きください。

入会申込フォーム最後の【備考】に「第34回品質工学研究発表大会に参加希望」とご入力ください。

入会申込後、会員番号とパスワードを発行し、メールにてお知らせします。

メール到着後、学会ホームページより大会参加の申込みを行ってください。

※ 入会手続きには数日から一週間ほど時間がかかります。

ご入会後に大会へ参加を予定している方は、お早めにお手続きください。

参加申込から大会当日までのスケジュール

- ① 品質工学会ホームページより申込み（2026年4月中旬より受付）
- ② 参加申込後、自動返信メールにて参加受付番号をお知らせ
- ③ 7月1日(水) 1日目（10時5分よりログイン開始）
7月2日(木) 2日目（10時5分よりログイン開始）

●参加番号や接続についてのお知らせは全てメールにて配信させていただきます。

●キャンセルは2026年6月19日(金)まで受け付けます。

●期日を過ぎてからのキャンセルや、大会当日に欠席された場合でも参加費はお支払いいただきます。

参加申込・その他問い合わせは、以下の方法で学会事務局までお願いいたします。

品質工学会ホームページ→事務局ページ→お問い合わせはこちら

大会実行委員会

実行委員長	／浜田 和孝	Hamada Quality Solution
副実行委員長	／衛藤 洋仁	いすゞ自動車(株)
幹事	／山戸田武史	(株)IDAJ
副幹事	／高松喜久雄	(株)IHI
実行委員（50音順）	／浅利 珠美	日本電気(株)
	飯岡 淳	コニカミノルタ(株)
	今津 貴文	(株)IHI
	岸 知男	エスケー石鹸(株)
	高倉裕太郎	いすゞ自動車(株)
	田村 康平	カヤバ(株)
	山田 泰聖	日本規格協会ソリューションズ(株)
	山野 竹秀	アルプスアルパイン(株)
	吉田 智行	日産自動車(株)
	和田 貴秀	理想科学工業(株)
	渡邊 諒	富士フィルムビジネスイノベーション(株)
地域委員（50音順）	／佐伯健太郎	三菱重工(株)
	水野健一郎	広島県立総合技術研究所
事務局	／金野友香里	(一社)品質工学会